

松韻魂 3年次バージョン

～合格までの最短距離を再確認しよう～

3年生になって2か月が経ちました。進路準備は順調に進められているでしょうか。部活動を引退した人は、気持ちを切り替えて、集中して学習に取り組むことが大切です。

ここでは、3年生の学習習慣のポイントについてまとめています。もう一度、学習スタイルを見直し、効率的に学習を進めていきましょう。

また、以下の全国のデータと自分を比較してみて、今現在、自分の意識レベルがどの程度であるかを見直すことも必要です。

1. 自主学習時間を確保しよう

学習時間について、下のデータを見ると、平日、休日ともに約2割から3割の人が「ほとんどしない」と回答しています。部活動の引退などで、4月よりも学習に取り組める時間が増えた人も多いと思います。ぜひ時間を有効に使って、**平日2時間以上、休日3時間以上の学習時間を確保**していきましょう。

◆平日の自主学習時間（単位：％）

選択肢	自分	全国
ほとんどしない		29.1
30分		14.0
1時間		17.2
1時間30分		10.9
2時間		16.0
3時間		8.9
4時間以上		3.7

◆休日の自主学習時間（単位：％）

選択肢	自分	全国
ほとんどしない		23.7
30分		8.4
1時間		12.2
1時間30分		8.1
2時間		15.2
3時間		13.5
4時間以上		18.6

<学習時間を確保するための3つのポイント>

①「生活の3点」を固定する

生活の3点とは、「起床」「夕食」「就寝」です。これらの時間を固定して、規則正しい生活をしましょう。

②まとまった学習時間をつくる

問題演習には時間がかかるものです。まとまった時間をつくり、じっくりと取り組んでみましょう。そうすることで、入試問題にも対応できる力をつけることができます。

③休日の時間を有効利用する

平日にできなかったことは、休日にカバーしましょう。計画の遅れも休日の時間を有効利用することで取り戻すことができます。

2. 授業を大切にしよう

学校の授業と進路学習を別のものだと考えていませんか。3年生の授業は入試を意識して行われています。そのため、毎日の授業を活用しながら受験勉強を進めていくことが最も効率的だと言えます。「受験勉強」だからといって特別なことをするのはなく、まずは、「予習→授業→宿題・復習」のサイクルで学習を進めていくことが大切です。

◆宿題・授業の復習への取り組み（単位：％）

選択肢	国語		数学		英語	
	自分	全国	自分	全国	自分	全国
宿題と復習は必ずする		14.7		25.2		23.2
宿題はしていないが復習はする		4.0		5.2		4.8
宿題はしているが復習はしていない		65.1		48.2		56.6
宿題は完全にできず復習も手が回らない		4.2		8.3		5.7
復習はせず宿題は写させてもらうことが多い		4.1		3.8		4.2
宿題も復習もしていない		7.6		7.9		5.2

3. 模擬試験を活用しよう

進学の方は、これから入試まで模擬試験を受験する機会が多くなります。模擬試験をうまく活用することで、受験勉強をより効率的に進めることができます。

<時期ごとの模擬試験の意義>

夏休み開始まで	秋以降
【目的】 「やりたい学問ができるか」「合格可能性はどのくらいか」などを考えながら、志望校を絞り込むために受験する。	【目的】 志望校合格に向けて、合格力がつくまで受験する。
【準備】 なるべく1か月以上前から準備する。	【準備】 それまでの模試の反省・復習を十分に行ったうえで、次の模試に向けて準備する。

<模擬試験の4つの効果>

①節目の効果	長期間にわたる受験勉強の集中力を維持する。
②自己診断の効果	自分の弱点や課題を見つける。
③全国区の効果	全国レベルでの自分の実力の伸びを正確につかむ。
④試験慣れの効果	試験の場に慣れ、実力を出し切るテクニックを身につける。